

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	国際・国内交流推進事業		担当部署	市民環境部 文化交流推進課・観光振興課	
総合計画体系			根拠法令計画など	0	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業期間	開始	昭和 ▼ 49 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと			終期
(小項目)		国際・国内交流			
施策	2	国際・国内交流の推進			
基本事業	1	交流のひとづくり			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民及び姉妹都市						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市と姉妹都市の交流を推進することで、市民同士の相互理解・国際理解を深め、両市の友好関係を強化することを目指す。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		使節団新規参加者の割合 リュ市／鳴門市	55	55	55	57	55	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	第20回鳴門市姉妹都市親善使節団を派遣するにあたり、初めて大人の参加者とともに、中高生の青少年参加者を募集し、中学生3名・高校生5名の8名を派遣した。青少年は現地でホームステイと学校訪問を行い、大人の参加者と同様、国際理解と友情を深めた。幅広い年代の交流が実現し、両市の友好関係強化に大きく貢献した。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	親善使節団参加者数 リュ市／鳴門市	18	36	18	40	18	
	2	使節団への学生の参加者数 リュ市／鳴門市	1	8	1	10	1	
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	使節団新規参加者の割合 リュ市／鳴門市		55	71	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)			129.1	—	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		895	2,299	4,013	3,077	2,095	千円
	財源内訳	国	0	0	0	0	0	
		県	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	200	1,500	0	0	
		一般財源	895	2,099	2,513	3,077	2,095	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		9,776	9,776	9,776	9,776	9,776	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		10,671	12,075	13,789	12,853	11,871	千円	

【事務事業名：国際・国内交流推進事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	平成26年10月に迎える第20回リューネブルク市親善使節団の受入準備を進めている。昨年の本市からの青少年派遣を受け、リューネブルク市からも青少年12名が大人の使節団員51名とともに来鳴予定となっており、市内の中学2校・高校1校において、青少年の受け入れを依頼。ホストファミリーの募集や学校での授業体験等について協力が得られる予定。また、姉妹都市盟約40周年にあたり、記念行事を複数実施予定。実施に向けて準備を進めている。
---------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	歴史的背景を基に生まれた姉妹都市交流であり、多くの成果も残していることから、今後も末永く継続する必要がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 国際・国内交流の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/>	⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	事業対象者の参加がより多くなるよう、事業内容について工夫する必要がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 事業対象は適切である。		
<input type="checkbox"/>		⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	平成25年の青少年派遣が、今年度のリューネブルク市からの青少年派遣につながった。今後も継続的にこの事業が実施できるよう検討する必要がある。 一方で、これまで第一線で交流推進に尽力してきた市民の高齢化は進んでおり、スムーズな世代交代ができるよう工夫する必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	平成27年度 ▼ 月未定 ▼			
	どのように改革するのか	平成26年度に実施する青少年受入事業の成果を検証し、次回以降の当事業について継続できるよう検討する。			